

一般会計

57億3700万円はこうに

一般会計の予算総額は57億3700万円。昭和44年度当初予算と比較すると4億1300万円多く、7.8%の伸びをしめしています。予算規模、財政指数などは県内の諸都市のなかでも上位にランクされており、市勢は順調に伸展を続けています。予算の編成にあたっては、健全財政をたてまえに、重点主義に徹して行ないました。それでは、市がどのような事業を行なうかご覧ください。なお、特別会計は水道と病院の両企業会計をふくめ20会計で、予算総額は25億586万円で昨年当初の22億5113万円にくらべ11.3%の伸びをしめしています。

総務費
13億7362万円

総合運動場の 測量を実施

市民の体位、体力を向上させるため総合運動場を建設しますが、その測量委託料350万円を計上しました。交通安全対策費は3282万円。交通安全施設の整備は平垣柚木線、鷹岡吉原線、伝法原田線などの歩道設置。このほか道路照明灯を10基つくるほか、反射鏡、標識、防護柵などを新設します。

庁舎建設事業費は4億1000万円でこれは最終精算年度としての事業費です。

電子計算機も導入してから2年目をむかえ、すでに実施している上下水道料金計算、市県民税事務、給与計算のほか、本年から固定資産税の課税事務、公害拡散計算などを実施します。予算は2682万円です。

超短波広報無線はすでに81受信局設置してありますが、まだ未設カ所が多いので、本年度も予算610万円で14カ所に設置します。

住居表示整備費は200万円で、今泉地区を実施するほか、富士駅南地区も計画しています。

民生費
5億5264万円

伝法、岩本地区に 保育園を新設

が30人、在宅重度心身障害児が50人です。

老人家庭奉仕員や健康調査の委託料など老人福祉費に3019万円。老人ホーム運営費など養護施設費に3015万円。市立保育園の運営に1億1010万円。医療扶助や教育扶助などの生活保護費に1億964万円などがおもなものです。

なお、働く意志と能力のある老人に適職をあたえるための職業相談、あるいは生活相談などを行ない、精神的援護をすることによって老人の住みよい社会づくりを実施します。

市立保育園の建設費に2913万円。伝法地区と岩本地区に収容定員60名の保育園を新設します。このほか、第3保育園の乳児室(定員6名)と南保育園の幼児室(定員30名)の増築を行ないます。児童の遊び場を今年度も5カ所に費用500万円で建設します。

在宅重度心身障害児や交通遺児を対象にした福祉手当が増額され、今年度から月額2000円になりました。対象人員は交通事故等遺児福祉年金

衛生費
5億417万円

大気汚染監視用の テレメーター設置

じん介処理費は1億2826万円で、第1清掃作業所の焼却炉増設、職員住宅の新築、清掃作業所の運営費などにあてられます。し尿処理費は1314万円です。保健衛生費は1億183万円。3種混合接種や種痘などの各種の予防接種費に1341万円。防疫などの環境衛生費に1053万円。保健活動費は822万円で、成人病検診や子宮ガン検診のほか大気汚染地域の住民を対象に健康調査を実施します。

公害対策費を今年度から衛生費に組み替えました。予算額は5227万円です。前年からの継続事業である大気汚染の監視用テレメーターを6月末までに設置し、常時汚染状況を監視していきます。大気や水質などの測定機器を充実するとともに、新庁舎に分析実験室を設置します。中小企業の公害防止対策を積極的にすすめるため、公害防止施設資金のあつせん、融資額を7000万円に増額、利子補給の充実をはかりました。

農林産業費

2億6.661万円

丸火自然公園の 整備すすめる

今年度は岩本農免道路と今宮農免道路の整備事業を行ないます。

農業振興費は906万円で土壌病害虫の駆除や岳南畑地かんがい事業の補助金にあてられます。畜産業費は247万円で、畜産団地造成の調査委託料が計上されました。

林業費は3937万円。林道寄坂線、七色石線など林道新設改築費に955万円。自然公園造成費が406万円で、丸火に自然公園をつくっていきます。緑化推進費は111万円で市民の木、市民の花の普及につとめます。

農林費2億2702万円のうち土地改良費が1億938万円。市営の土地改良費が3224万円で、中野三ツ倉農道、浮島水源、今宮排水路などの整備を行ないます。農業生産基盤整備費は2303万円で、吉原須津第1農地保全大淵農道、寺の上農道、岩本畑地かんがい事業などの補助金です。農林漁業資金償還補助金は5313万円で、農林債の償還補助金などにあてられます。

農免農道整備事業費は3693万円。

土木費

12億5.311万円

広見町、四丁河原 に市営住宅104戸

富士線や弥生線など街路事業に3億2111万円。駅前の防災街区の造成に948万円。土地区画整理費は1億4962万円で、富士駅周辺土地区画整理事業や富士中部地区の設計委託料にあてられます。都市下水路費は1億1514万円で岳南排水路負担金がおもなものです。公園費は2895万円で、広見公園、青島公園、砂山公園、木の宮公園などをつくります。

住宅費は2億3833万円。4階建ての住宅を吉原団地に48戸（1種24戸、2種24戸）四丁河原団地に56戸（1種24戸、2種32戸）建設します。

道路事業費は2億922万円。川坂好水線など33路線の維持修繕費に1000万円。四ツ家滝戸線など41路線の新設改良工事に6922万円。原田吉原停車場線など54路線の舗装工事に6700万円。大淵線など13路線の舗装改良工事に1200万円。下天間線など32路線の生コン舗装に1000万円。伝法原田線の用地先行取得に4300万円。県道整備事業の地元負担金に2000万円などがおもなものです。

都市計画費は6億5729万円。臨港

消防費

1億6.926万円

東部地区に消防 分署を設置

常備消防費は1億2146万円で、ほとんどが人件費とホースなどの備品購入費がしめています。

東部地区の消防力を強化するため旧吉永支所内にある第8分団の詰所を増改築して、工費600万円で消防署東部分署（仮称）を新設します。これにともない、中型の普通消防車も購入します。また、港分署の普通消防車も古くなつたので、今年度新しくします。

防火水そうの新設は10基で、工費は800万円です。水利の状況をよく検討して、条件の悪い地域に重点的につくります。1基の容量は40トンです。

第4分団（今泉栄町）の詰所が古くなつたので、鉄筋コンクリート2階建てで新築します。

非常備消防費は1462万円で、報酬や交付金がほとんどをしめています。このほか、水防費に152万円、防災費に374万円がそれぞれ計上されています。

教育費

9億2.408万円

吉原団地に待望の 小学校を建設

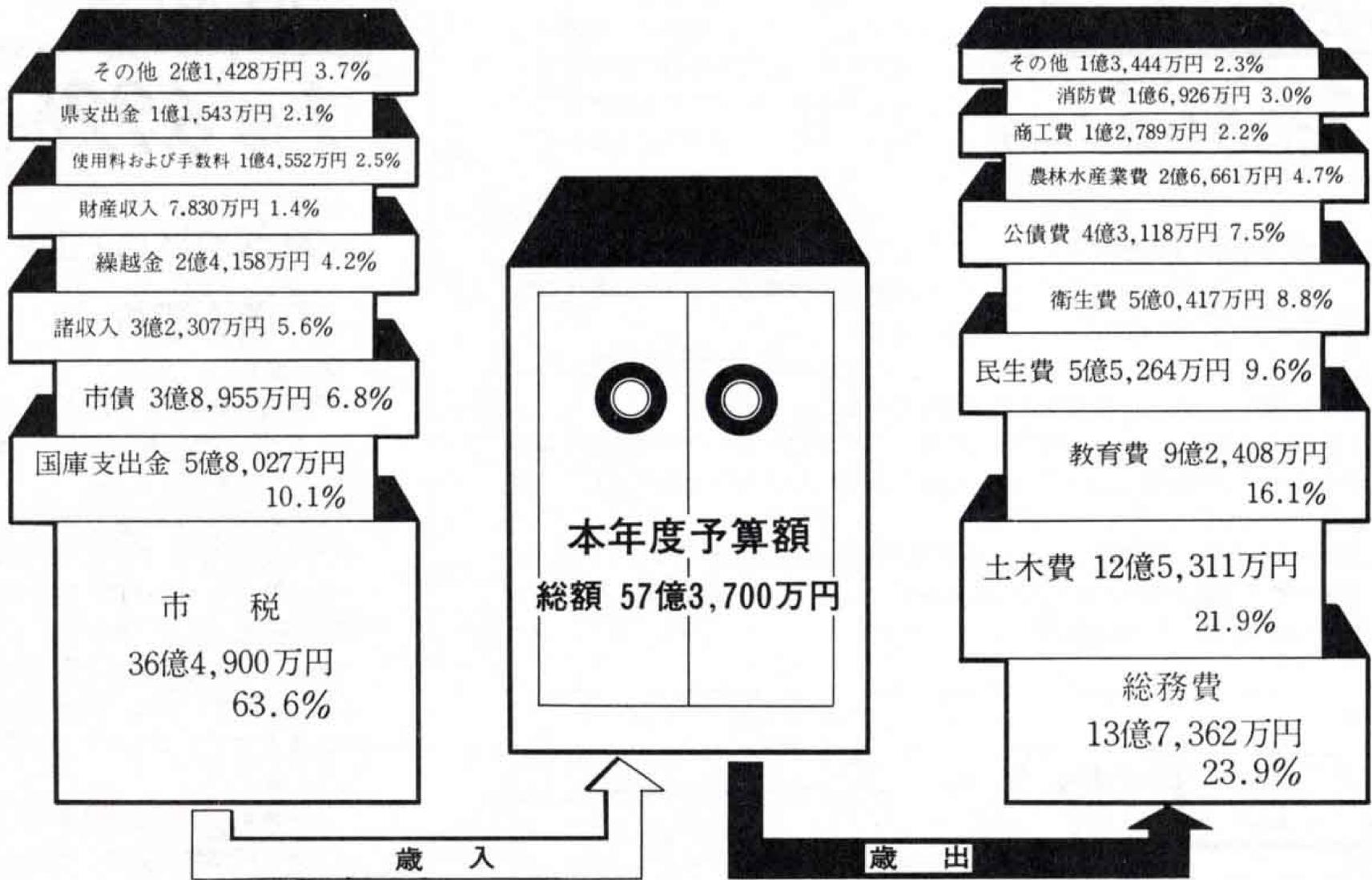
小学校費は3億1560万円。富士第1小学校を6000万円で、元吉原小学校を3430万円で大淵第1小学校を1880万円で、それぞれ改築します。地元から強く望まれていた広見小学校の建設を今年度からはじめます。工費は5950万円です。田子浦小学校に屋内運動場を工費3380万円をつくります。

中学校費は1億7215万円。元吉原中学校を1355万円で、岩松中学校を1800万円でそれぞれ改築します。富士南中学校に学校給食をはじめめるため、施設を750万円をつくります。吉原第1中学校に技術室を720万円をつくります。

高等学校費は8591万円。幼稚園費に5916万円を計上しました。

社会教育費は1億783万円。このうち公民館費が7554万円をしめています。図書館費に1561万円、青少年教育費を731万円、成人教育費を322万円それぞれ計上しました。

保健体育費は1億1491万円で、学校給食関係の人件費が1億156万円をしめています



45年度会計別予算額

一 般 会 計	(市政運営のための経常経費と投資的経費)	57億3.700万円
特 別 会 計	(特別な事業を行なうための経費)	12億6.162万円
＜ 特 別 会 計 ＞		
国民健康保険事業	(加入者57,696人を対象の運営費)	7億2.500万円
下水道事業	(下水道の拡張と水洗便所化に要する経費)	7.990万円
青島・津田土地区画整理事業	(土地区画整理の事業費)	7.085万円
依田原新田土地区画整理事業	(新しい土地区画整理の事業費)	3.725万円
学校給食事業	(市立製パン所の運営に要する経費)	2.910万円
魚市場事業	(田子の浦魚市場の運営費)	272万円
育英奨学事業	(82人の奨学生を対象とした経費)	176万円
内 山	(財産管理)	4.860万円
旧 吉原	(財産管理)	210万円
旧 島田	(財産管理)	168万円
旧 今泉	(財産管理)	3.057万円
旧 今泉・一色・神戸・今宮	(財産管理)	620万円
旧 元吉原	(財産管理)	280万円
旧 須津	(財産管理)	206万円
旧 吉永	(財産管理)	1.080万円
旧 原田	(財産管理)	673万円
公共用地先行取得事業	(道路などの用地の取得費)	2億円
駐車場事業	(市営駐車場をつくるための経費)	350万円
＜ 企 業 会 計 ＞		
水道事業	(経営活動にともなう経常的経費と建設改良事業費など)	5億4.604万円
病院事業	(経営活動にともなう経常的経費と病院増改築費など)	6億9.818万円
市の予算総額		82億4.284万円